

第31回 土木フェスティバルで「土石流模型実験」を実施！

砂防えん堤が
まちを守っているんだね！

▲土石流模型実験の実演の様子

10月10日(日)、国営越後丘陵公園にて、第31回土木フェスティバルが開催されました。災害時に活躍するいろいろな車輛に乗ったり、地震や大雨の体験など、好天に恵まれた楽しい一日となりました。

湯沢砂防事務所が開設した「土石流模型実験コーナー」では、模型実験を通じて土石流の恐ろしさや砂防えん堤の役割などをわかりやすく説明しました。

土砂災害や洪水時に備え、地域のハザードマップをご家族みんなで確認し、災害への備えに取組んでください。



▲土砂災害を学習するパネル展示

▲土砂を受けとめる
砂防えん堤の模型

【その他ブースの一部紹介】



▲地震体験車



▲降雨体験車

＜土石流模型実験を見て…参加された皆さんの主な感想＞

- ・模型は初めて見た。わかりやすくおもしろかった。
- ・橋がこわれたのはいやだし、土石流がおきるのはこわい。
- ・2度目の土石流では砂防えん堤を越えて土砂が流れると思ったが、土石流を受け止めたことにびっくり！
- ・土砂災害を防ぐ仕組みがよくわかった。
- ・大人になったら砂防えん堤を整備する人になりたい。